



India Weekly

2021年1月4日

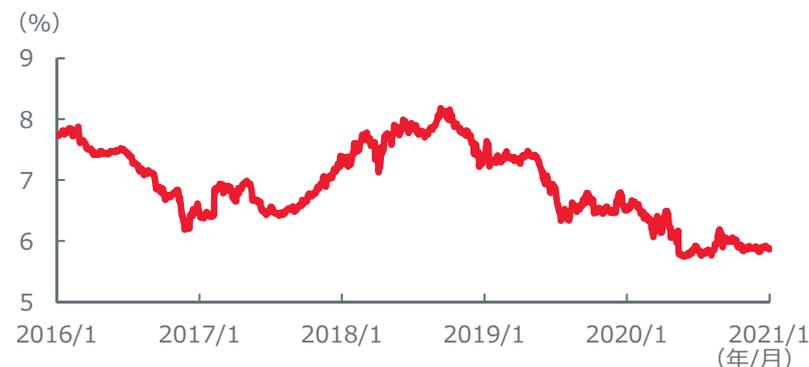
eastspring
investments

(対象期間：2020/12/21～2021/1/1)

【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2021年1月1日)



【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年1月1日)



【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年1月1日)



* オペレーションツイスト：長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行い、長短金利を逆方向に動かす公開市場操作

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルグループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

210104 (01)

【株式市場】

12月21日は、英国での新型コロナウイルスの変異種の感染拡大を嫌気した欧州株式市場の下落に連れて、インド株式市場も下落しました。23日はインド国内でのワクチン緊急使用許可の可能性の報道等から上昇傾向となりました。その後、英国と欧州連合（EU）の通商交渉大枠合意、米国の追加景気対策・歳出法案にトランプ大統領が署名したこと等、好材料が続き、1月1日まで堅調推移となり、主要株価指数であるSENSEX指数は過去最高値を更新しました。

2020/12/18	2021/1/1	変化率
46,960.69	47,868.98	+1.93%

【債券市場】

12月の金融政策決定会合議事録が発表され、インド準備銀行（中央銀行、RBI）による債券市場支援策への期待感がやや後退し、12月21日、インド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。24日にRBIが翌週オペレーションツイストを実施すると発表して利回りは低下となり、実施された30日と翌日も低下しました。1月1日は2021年1-3月の州政府の債券発行が予想以上になると見られて利回りは上昇しましたが、対象期間では利回り低下となりました。

2020/12/18	2021/1/1	変化幅
5.908	5.875	-0.033

【為替市場】

12月21日は、英国での新型コロナウイルスの変異種の感染拡大の報道を受けてインド株式市場が下落する中で、ルピーは対米ドルで下落しました。しかし、翌日以降インド株式が買い戻されるにつれてルピーも反発しました。その後もインド金融市場への外国人投資家からの資金流入がルピーの支援材料となったほか、7-9月期のインドの経常黒字が市場予想を上回ったこともあり、ルピーは対米ドル、対円共に上昇しました。

2020/12/18	2021/1/1	変化率
1.406	1.414	+0.55%